

「個別支援」から「世帯支援」へ、そして「地域支援」へ

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

昨年も一昨年と同様にコロナ対応の一年となりました。3月から4月の第4波では相互支援の考え方から応援派遣が実施されました。5月から7月には施設内でのワクチン接種と抗原定性検査が実施されるなど、行政と老施協そして会員施設の連携により第5波の影響を最小限に抑えることができました。

10月以降については、感染は縮小傾向を示し収束したかのように見えますが、第6波に備え基本的な感染対策は意識していく必要があります。しかし、ワクチン接種と検査の充実そして治療薬の見通しが出てきたことで、これまでのような感染対策一色とは異なっていくと思います。なぜならば私たちに課題が山積しているからです。

施設には、「人材不足」「待機者の減少」「収益の減少」「建物の老朽化」「経費の増大」など現在から将来にわたる課題が蓄積されつつあります。一方、地域には、「孤立・孤独」「生活困窮」「子育て」「虐待」「ヤングケアラー」「地域災害の頻発」等々制度によっては支援の手が届かない問題がたくさんあります。コロナ禍によって問題は先鋭化しており、手をこまねいては「人材不足」や「待機者の減少」「収益の減少」は益々悪循環的に陥ってしまいます。施設の課題と地域の課題を「地域共生社会の実現」に関わることによって併せて解決していく必要があると思っています。

高齢者支援を中心に置きながらも「個別支援」から「世帯支援」へ、そして「地域支援」へと移行していかなければならないと考えております。現在、仙台市社会福祉協議会は、第5次地域福祉活動計画「せんだいaiプラン」の実施に向けて仙台市内の各種別協との連携を模索しています。一方、小地域においては、若林区での特養と障がい者支援施設や若林区社協などが連携した小規模法人ネットワーク事業や北仙台地区での複数の老人福祉施設やNPOなどが参加している「ふわっと」などが既に地域活動を開始しております。これらの地域活動は必ずや「人材確保」や「待機者の増加」などに結びついていくことでしょう。

仙台市老施協としましても「地域支援」について皆様と一緒に考えていく年にしたいと思っております。本年も何卒宜しくお願い申し上げます。



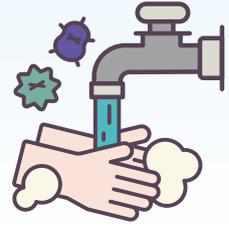
仙台市老人福祉施設協議会
会長 庄子 清典



新型コロナウイルス感染症対策に関する

アンケート結果報告 (抜粋)

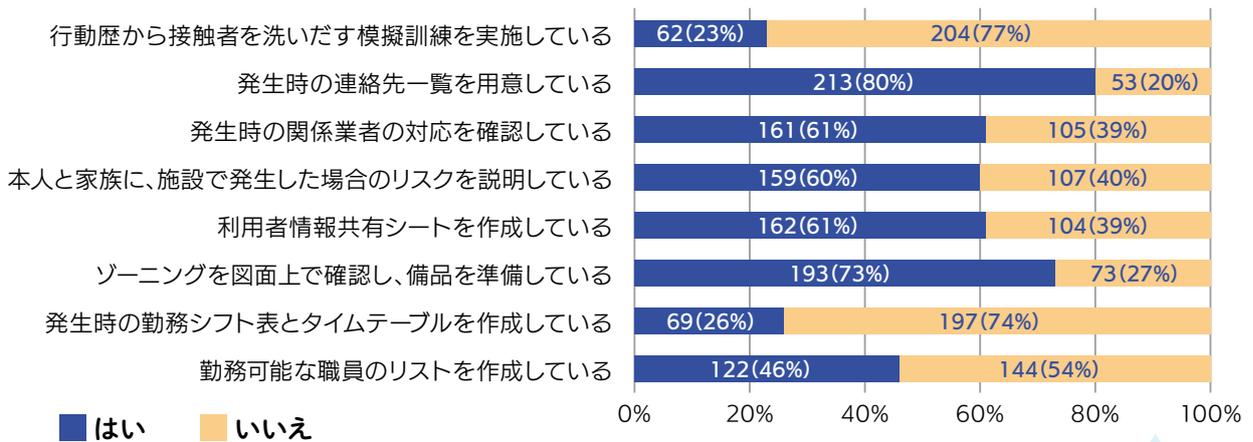
実施主体 ▶ 宮城県新型コロナウイルス感染症対策介護ワーキンググループ
 アンケート実施期間 ▶ 令和3年8月5日から9月7日まで
 回答施設数 ▶ 485施設 (入所系施設266施設、通所系施設219施設)



問

入所系の施設にお伺いします。発生時に備えて、貴施設では以下の取り組みを終えていますか。該当する項目の□に✓点を入れてください。(複数選択可)

発生時に備えて、貴施設では以下の取り組みを終えていますか(入所系)



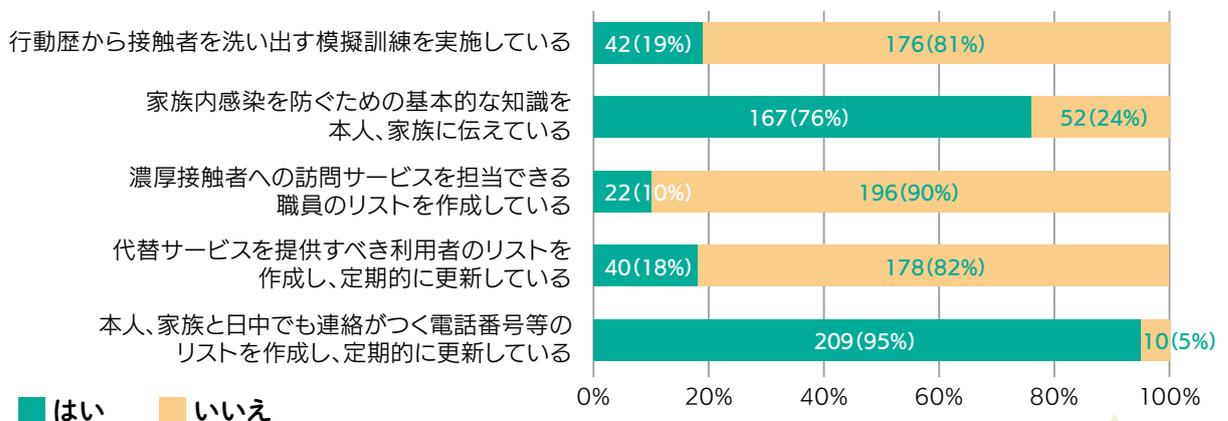
■ はい ■ いいえ

「行動歴から接触者を洗いだす模擬訓練を実施している」「発生時の勤務シフト表とタイムテーブルを作成している」「勤務可能な職員のリストを作成している」の3項目で取り組みが低かった。陽性者が発生した入所系施設 (n=36) に絞っても、上の表のように同様の結果であった。

問

通所系の施設にお伺いします。発生時に備えて、貴施設では以下の取り組みを終えていますか。該当する項目の□に✓点を入れてください。(複数選択可)

発生時に備えて、貴施設では以下の取り組みを終えていますか(通所系)



■ はい ■ いいえ

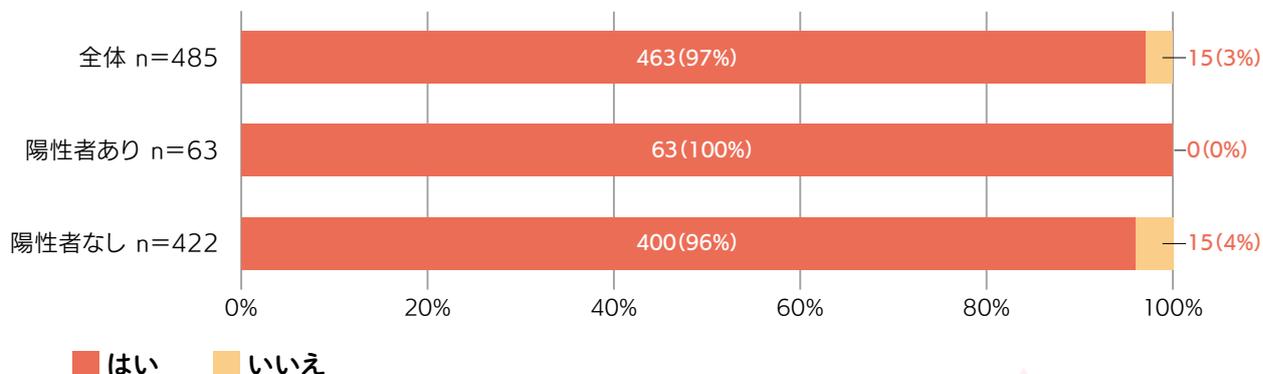
「行動歴から接触者を洗い出す模擬訓練を実施している」「濃厚接触者への訪問サービスを担当できる職員のリストを作成している」「代替サービスを提供すべき利用者のリストを作成し、定期的に更新している」の3項目で取り組みが低かった。陽性者が発生した通所系施設 (n=27) に絞っても、上の表のように同様の結果であった。

参考指針に沿った備えの有無とゾーニング期間

問

貴施設では、参考指針の「本人の同意を得ることが困難であっても速やかに担当ケアマネジャー等関係者への情報提供を行う」に沿った対応を想定していますか。

発生時のケアマネ等への情報共有



発生時にケアマネ等への情報提供について、陽性者が発生したすべての施設(63施設)で、また陽性者が発生していない施設でも96%(400施設)が、「本人の同意を得ることが困難であっても速やかに担当ケアマネジャー等関係者への情報提供を行う」に沿った対応を想定していると回答した。

居宅ケアマネジャー 研修報告

仙台市老人福祉施設協議会
ケアマネジャー委員会 委員長

新谷 英一



令和3年8月20日ショーケー本館ビル3階B会議室で、居宅ケアマネジャー研修会を開催しました。会場11名、Zoom27名、計38名の方に参加していただきました。仙台市介護事業支援課居宅サービス指導係 八嶋様より、令和3年度介護報酬改定について講義をしていただきました。八嶋様には、人員、運営の基準に関する事、介護報酬に関する事、令和3年度介護報酬改定に係るQ&Aを丁寧に説明していただきました。講義後は、情報交換を行いました。介護報酬改定後に、事業所で取り組んでいる事や疑問に思う事を、会場とZoomを通して、活発な情報交換となりました。行政や他の事業所の方の話を聞ける、良い機会となったとの意見も多くありました。Zoom参加の方からは、講師の話は聞き取り易かったが、会場の声が聞き取りにくかったとのことがありました。今後の課題とさせていただきます。申し訳ございませんでした。

支部活動 紹介

青葉東支部

仙台市老人福祉施設協議会
青葉東支部支部長

庄司 英子

平成29年度より始まりました支部活動は、特に昨年より世界的に発生した「新型コロナウイルス感染症」に伴い、その必要性・重要性を強く認識致しました。昔から言われております「遠くの親戚より近くの他人」ではありませんが、何かあれば近隣施設の皆様方との情報共有・交換・相互支援等々。常日頃より顔の見える(分かる)関係性をいかに構築すべきか。その為にも支部活動は、大きな前進であったと考えます。

青葉西支部

仙台市老人福祉施設協議会
青葉西支部支部長

高田 洋樹

青葉西支部は、本年度「会員施設職員の資質向上に資する研修の実施」「地域行政機関との連携推進」を柱に活動を計画しておりました。しかし、この度の新型コロナウイルス感染症の第5波の影響により、やむを得ず一時開催を見合わせる事態となりました。ワクチンを優先的に接種していただいたにも関わらず、コロナ禍における活動の難しさを痛感しております。今後、できるだけ会員施設に還元できる活動を考えて参ります。

宮城野・若林支部

仙台市老人福祉施設協議会 宮城野・若林支部支部長 今野 雅通

令和3年度の活動は、従来の対面式の情報交換を取りやめZoomを活用したオンライン形式での情報交換の場を設けています。コロナ禍での面会方法、LIFEの導入について、BCP策定について等各事業所がどのような取組をされているのか等事前に会員施設より寄せられた事項を議題として考えています。年度後半、コロナの収束状況をみながら対面での情報交換会を開催できればと考えています。

太白支部

仙台市老人福祉施設協議会 太白支部支部長 我妻 壮一

太白支部支部長を仰せつかってから2年目になりましたが、この間の支部活動は情報交換を中心に隔月に開催しています。その内容はコロナウイルス感染対策について、各施設はどの様に取り組んでいるか等、日常の施設運営状況について報告をいただく中で、互いの施設で感染対策に生かせれば幸いと考えています。また、老協協理事会や各委員会の動きなどについてもそれぞれから報告いただいています。

コロナウイルス感染がいつ収束するのか見通しが立たない中で、支部12会員は連携しながら感染防止に取り組んでいきたいと思っています。

今思えば、コロナ感染が騒がれ始めたころ、ノーベル医学生理学賞を受賞した、山中教授の発言が現実となっているような気がします。山中教授は「感染症の専門家ではないが、収束するまで3、4年はかかると思う」「コロナウイルスとの戦いは短距離走ではなくマラソンだ、マラソンには必ずゴールがある」。

ゴールはまだ先ですが、支部一体となって安全・安心な施設運営に努力していきます。

泉支部

仙台市老人福祉施設協議会 泉支部支部長 菅原 節雄

令和2年度は、コロナ禍ということもあり、例年の支部活動は殆ど出来ず、限られた時間の中で、宮城大学特任講師(当時)の松永早苗氏をお招きして約40名のご参加をいただき、「介護現場における感染症の理解と対策」をテーマに研修会を開催しました。その他とし、いくらでも新型コロナ関係の情報を共有しようと思い、参加人数を最小限に絞り、2回の支部会議と2回の幹部会議を開催しました。その他「新型コロナウイルス対策について」のアンケート調査等を実施し、各法人の新型コロナ感染対策の情報の共有を行いました。令和3年度についても、前年度よりコロナ禍の状況が厳しいと思われる、昨年以下の活動になると思いますが、泉支部会員施設のご協力のもと活動を実施していきたいです。

編集 後記

今年度は、コロナ禍により昨年に引き続き年1回の発行になりました。「夜明け前が一番暗い」コロナが明けた後、以前のような日常が戻って来るはずです。

コロナが何もなく終わったと思える日まで、歩み続けましょう。原稿作成にご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。2022年が実りある年になりますよう頑張りましょう。



— 仙台市老協だより — 第47号 (2022年1月発行)

編集：仙台市老協広報委員会／発行：仙台市老人福祉施設協議会

事務局

〒980-0022 仙台市青葉区五橋2-12-2 仙台市福祉プラザ7階(仙台市社会福祉協議会内)
TEL 223-2023 FAX 263-0267 ホームページアドレス <http://sendai-roushikyo.jp/>